

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	公共交通対策特別委員会	会議場所	全員協議会室
		担当職員	鈴木 智
日 時	令和2年11月30日(月曜日)	開 議	午前 9 時 00 分
		閉 議	午前 9 時 15 分
出席委員	◎石野 ○三宅 田中 山本 赤坂 奥野 福井		
執行機関出席者			
事務局出席者	山内事務局長、鈴木議事調査係長		
傍聴者	市民0名	報道関係者0名	議員0名(一)

会 議 の 概 要

9 : 0 0

1 開議

- 〔石野委員長 開議〕
- 〔議事調査係長 日程説明〕

2 案件

(1) 提言書について

<石野委員長>

この提言書について意見はないか。

<福井委員>

前文に「この度、市域のタクシー事業者に関して」とあるが、公共交通施策に関して提言するものではないのか。各委員の意見を聞きたい。

<三宅副委員長>

記1に、「市域のタクシー事業者」と記載しているので、前文にはなくてもよいのではないか。

<山本委員>

記1に、「運行管理業務の構築に十分活用し」と記載されているが、前回の意見では、運行のノウハウだけをタクシー事業者に教えてもらい、その後、手を離していくとされていた。しかし、高齢化していくと運転に問題が出てくるので、その時にもタクシー事業者の力を借りることができればよいと思う。必要な時に関わってもらえるように記載すればよいのではないか。

<三宅副委員長>

最初はノウハウを教えてもらい、体制が構築できれば手を離すということである。山本委員が言われていることを付加すればよいと考える。

<山本委員>

自分たちでやっても、いろいろな課題が出てくるので、その時に助けてもらうようにできればよい。

<田中委員>

記1に「地域主体型交通の運行管理業務の構築に十分活用し」とあるのを「地域主体型交通の運行の構築に十分活用し」としてはどうか。

<福井委員>

「地域主体型交通の構築及び維持に十分活用し」としてはどうか。

<赤坂委員>

それでよいと思う。

<石野委員長>

「地域主体型交通の構築及び維持に十分活用し」とするがよいか。

—全員了—

<石野委員長>

前文の「市域のタクシー事業者に関して」は、削除することでよいか。

—全員了—

3 その他

<議事調査係長>

委員会として、市長に提言書を手渡しすることでよいか決定いただきたい。その場合の日程としては、12月2日（水）午後4時、もしくは4時30分で調整いただければありがたい。また、全委員で市長に手渡しするのについても検討いただきたい。

<赤坂委員>

できるだけ全員で行くのがよいと思う。

<田中委員>

私は所用により欠席する。

<石野委員長>

12月2日（水）に、市長に提言書を手渡しするので確認いただきたい。時間は後日、事務局から報告する。

散会 9：15